

飛驒市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果

- 1 点検評価を行った期日 平成25年8月29日(木)
- 2 点検評価の会議の場所 飛驒市役所西庁舎3階第1会議室
- 3 点検評価の対象事務
平成24年度の飛驒市教育委員会の権限に属する事務
- 4 点検評価を行ったもの 飛驒市教育委員会
- 5 飛驒市教育委員会が事務点検評価委員会への意見聴取を行った期日及び場所
平成25年8月21日(水)、8月27日(火)
飛驒市役所西庁舎3階大会議室
- 6 飛驒市教育委員会事務点検評価委員会の飛驒市教育委員会に対する意見
平成24年度分飛驒市教育委員会事務事業点検評価については、飛驒市教育委員会事務局各課が行った第1次評価のとおりであることを認める。(別紙平成25年8月27日付け飛驒市教育委員会宛「平成25年飛驒市教育委員会事務点検評価について」参照)
- 7 点検評価の会議に出席した者
(飛驒市教育委員会委員)
委員長 泉 正樹、 委員 田口 理子、 委員 吉木 直美
委員 田口 力三、 教育長 山本 幸一
(説明のため出席した飛驒市教育委員会事務局職員)
事務局長 石腰 豊、 参事兼学校教育課長 山崎 浩巳
教育総務課長 田中 吉久、 生涯学習課長 福永 聡
給食センター長 村上 幸春

8 点検評価の方法

飛騨市教育委員会事務点検評価実施要領第3条の規定により、飛騨市教育委員会事務局各課が第1次評価した「飛騨市教育委員会事務点検評価資料」を基に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定に基づく飛騨市教育委員会事務点検評価委員会を開催し、学識経験者の意見聴取を行った後、平成25年8月29日開催の平成25年第8回飛騨市教育委員会において、平成24年度の飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った。

9 点検評価の結果

別添「平成25年飛騨市教育委員会事務点検評価資料」のとおり

平成25年飛騨市教育委員会事務点検評価資料

平成24年度分事務事業の執行状況

平成24年度分自己点検評価シート

飛騨市教育委員会

項目	項目	平成24年度の実績・成果と課題		評価
		実績	成果・課題	
教育委員会	教育委員会会議の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議件数 議案 36件 発議 3件 報告 7件 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育関係の議案について、議論を重ね、飛騨市の教育行政や学校経営等について、審議するとともに、資質の向上を図ることができた。 	A
	協議会の討議状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回数 10回 ・ 審議件数 34件 ・ 教育委員会事務局の人事異動について ・ 成人式について ・ 小中学校の卒業式及び入学式について ・ 教育委員会後援名義等について ・ 全国学力調査の結果等について ・ 放射能検査について ・ ぎふ清流国体について ・ いじめ問題について ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種の教育関連の協議事項を協議し、今後の飛騨市の教育行政について、よりよい方向づけが図られた。 	
	教育委員の調査活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の卒業式・入学式への列席 ・ 小中学校の学校訪問 ・ 小中学校の運動会・体育祭参観 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事・学校訪問を実施し、現場で児童生徒や教職員等を参観して学校現場の課題等を把握でき、今後の教育委員としての資質向上の参考となった。 	
事務点検評価委員会	点検評価委員会の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月22日、27日の2回開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会の事業状況を知り、内容を点検し評価することで教育行政の向上が図られた。 	

重点 施策	重点 目標	平成24年度 目標	担当 課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域発展のための人材定着事業	定住促進事業…育英基金償還者地元就職補助事業	飛騨市育英基金貸付生地元就職補助	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・地元就職された育英資金償還者に対し、年間償還額の1/2の助成を実施した。 <p>償還者 97名 該当者 27名 総額 4,488,200円 （前年比28.8%の増）</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌や市HPを活用し、貸付時にこの制度をPRするとともに、貸付者には個別にこの制度のパンフレットを送付して、就職活動の際に地元就職への選択に繋げることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の貸付件数の増加に伴い、将来の制度利用該当者の増加が見込まれるため、今後交付額も増大していくと思われるため、予算化につき努力していく。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
安全・安心な教育環境の整備	スクールバス購入事業	老朽化したスクールバスを更新基準（購入後15年以上経過・走行距離20万km以上）に従い、更新購入する。	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・古川3号車 中型バス1台 <H24決算額> 12,443千円	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した車両を更新購入することで、安全安心な通学手段を確保する。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
安心・安全な教育環境の整備	小学校施設整備事業	<p>宮川小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館等建設 ・旧中学校体育館等解体 <p>古川小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド整備 <p>古川西小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロータリー整備 ・特別教室棟屋上防水改修 <p>神岡小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災報知設備改修 	教育総務課	<p>宮川小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館設計委託（繰越） ・体育館建設工事（繰越） ・特別教室棟建設工事（繰越） ・棟渡り廊下建設工事（繰越） ・旧宮川中特別教室棟解体工事（繰越） ・旧宮川中体育館解体工事（繰越） ・倉庫・交流広場整備工事 <p>古川小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド整備工事（繰越） <p>古川西</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロータリー整備工事 ・特別教室棟屋上防水改修工事 <p>神岡小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災報知設備改修工事 	<p>【成果】</p> <p>宮川小学校体育館建設が終了し、市内小中学校の耐震化率100%を達成した。</p> <p>また、旧宮川中学校特別教室棟、体育館等の解体や古川小学校グラウンド整備を含め繰越事業であった工事はすべて終了し、安全な学校施設づくりを行った。</p> <p>【課題】</p> <p>いまだに、各学校には小修繕施設が残っているため、計画的に修繕できるよう各学校と協議しながら整備計画を作成していきたい。</p>	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
安心・安全な教育環境の整備	小学校施設整備事業	飛騨吉城 特別支援学校 ・駐車場整備	教育総務課	・駐車場整備工事 用地測量 A = 4,830.0㎡ 駐車場舗装 A = 965.0㎡ 管理道舗装 L = 55.8m 転落防止柵 L = 18.0m	【成果】 ・駐車場舗装工事を実施することで、土砂の舞い上がりを防ぐとともに、流失を防ぐことができ、古川小学校へ通学する児童の通学環境改善や、近隣住民の生活向上と安全性が向上した。	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
安心・安全な教育環境の整備	中学校施設整備事業	古川中学校 ・グラウンド拡張工事 ・普通教室転換等工事	教育 総務課	古川中 ・グラウンド拡張工事 ソフトボールグラウンド整備工事 A = 4, 670 m ² 野球場整備工事 A = 947 m ² 部室移設6棟、防球ネット移設 ・普通教室転換工事 少人数教室を普通教室に転換	【成果】 ・古川中学校では、グラウンドが一面しかないため、野球とソフトが同時にできなかったが、グラウンドの拡張工事により、ソフトボール用の場所ができ体育の授業や部活動でも利用の範囲が広がるとともに、空いている時間にはグラウンドゴルフの練習場として、地域のお年寄りが集まる場所となった。 ・神岡中学校でも、野球や陸上の練習を同じグラウンドでおこなっていたが、打球等の危険性がなくなり、双方とも安心して練習できるようになった。	A
		神岡中学校 ・サブグラウンド整備工事		神岡中 ・サブグラウンド整備工事 A = 1, 919 m ² フェンス設置 L = 83 m 駐車場舗装 A = 1, 248 m ² 倉庫1棟		

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
安心・安全な教育環境の整備	給食調理施設整備事業	河合給食センター	教育総務課 (河合給食センター)	給食センター空調機器設置 ・業務用エアコン 1台	【成果】 ・高山保健所の衛生管理立入検査において、指摘された調理場内の高温対策として、業務用エアコン1台を新設設置し、調理環境の改善を図った。	A
		空調設備設置工事		河合小学校 85人 年間給食日数 197日 述べ給食数 16,668食		
				宮川小学校 41人 年間給食日数 191日 述べ給食数 7,852食		
				参考 神岡給食センター 135,229食 古国給食センター 396,340食 (古川部分のみ) 山之村小中学校 5,323食		

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
確かな学力をつける特色ある学校づくり	児童生徒一人一人に確かな学力をつける	<p>学力向上プロジェクト事業</p> <p>学力向上プロジェクト委員会による家庭と連携した学習習慣の確立を図り、2つの学力テストを実施し、「定着度」と「伸び」から取組を評価し、確実な事後指導と各校の学力向上計画改善により、児童生徒一人一人に確かな学力をつける。</p>	学校教育課	<p>〔H24決算総額〕 7,036千円</p> <p>1 学力の検証と指導方法の工夫・改善 2つの観点からの学力調査の実施。 ①年ごとの「一人一人の伸び」 市標準学力調査 〔H24決算額〕 1,970千円 実施日 H25/1/31 調査内容 国語・算数・数学・理科 対象者 小1～中3 2115名</p> <p>②「小中の出口」における定着度 全国学力・学習状況調査 〔H24決算額〕 512千円 実施日 H24/4/17 調査内容 国語・算数・数学・理科 対象者 小6・中3 491名</p> <p>2 教員の指導力向上 (中学校教科書改訂に伴う整備) 〔H24決算額〕 4,105千円 教師用教科書・指導書・指導用教材の購入</p> <p>3 基礎学力定着支援事業 指定校による指導方法改善の推進とその実践公開 〔H24決算額〕 449千円 神岡小公表会：H24/10/26 神岡中公表会：H24/11/16</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査は、中3は小6の時（H21）より、3教科とも全国平均正答率を上回った。 ・小6は3教科とも全国平均正答率より低かったが、小5の時に実施した市標準学力調査結果より、国語A、算数ABにおいて伸びている。 ・基礎学力定着支援事業公表会には市内全教員が参加し、指定校の取組を協議し、広めることができた。 ・学習習慣が身に付き、集中して学習する児童生徒が増えていることを、春秋の3回の学校訪問で評価できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中ともに国語力に課題があることが明らかになったので、毎時間の授業の終末で「書く」ことによる評価の仕方に重点を置く。 ・市教育研究所による教員研修事業を充実させ、さらなる教員の指導力向上を目指す。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
確かな学力をつける特色ある学校づくり	児童の力を伸ばす少人数指導の充実	<p>小学校3年生の少人数学級配置事業</p> <p>小学校1・2年生までの35人学級編制を市独自に3年生まで継続し、よりきめ細かな指導を徹底して義務教育の初期の段階から基本的な学習習慣を確立させ、児童生徒一人一人の学力向上を目指す。</p>	<p>学校教育課</p>	<p><古川小学校3年生> 通常学級児童数 115名</p> <p>国の基準による学級編制では、1学級あたり40人編制となり、3学級となる。 (1学級39人・38人・38人)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>本事業による学級編制では、1学級あたり35人編制となり、4学級となり、1学級あたり8～10人減となる。 (1学級29人・29人・29人・28人)</p> <p>[H24決算額] 2,596千円</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学級あたりの児童数が10人減となり、1・2年次と同じ学級編制で、3年次もきめ細かな個に応じた指導を行うことができた。 ・発言や発表の機会が増え、より積極的に授業に参加できる。 ・教員と児童との間の関係が緊密化し、生徒指導上の課題に即した個別指導が充実し、よりよい人間関係が築かれている。 ・教室にゆとりが生じ、教育活動の幅が広がる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小3の学級数が増えることにより、市費負担講師を配置しているが、市費負担講師は県の規定により学級担任となることができない。 ・25年度からは県において小3の35人学級編制が実施されるため、市では継続して小4において35人学級編制を実施する。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

重点施策	重点目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
確かな学力をつける特色ある学校づくり	児童生徒一人一人に確かな学力をつける	<p>神岡町連携型中高一貫教育事業</p> <p>①確かな学力を身に付けた子を育てる ②自分に自信をもち、夢や目標に向かって挑戦する子を育てる。 ③地域に愛着と誇りをもち、地域に貢献できる子を育てる子</p>	学校教育課	<p>〔H24決算総額〕 0円</p> <p>神岡中学校・飛騨神岡高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 市学習習慣確立指針を受けた授業改善についての継続的、組織的取組 中学校2年生高校の授業「体験授業」の実施 中高教員の授業交流の実施 中学校3年生対象「高校一日入学」実施 中学校2年生対象「出前講座」実施 地域の人や産業から学ぶ体験学習の実施（中「職場体験学習」高「インターンシップ」） 中学校3年生が高校での「部活動見学」「部活動体験」の実施 小中高による地域挨拶運動の実施、地元祭礼等への積極参加 6月5日（第1回評価委員会）神岡中学校授業参観 実施 12月11日（第2回評価委員会）飛騨神岡高等学校授業参観 実施 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 神岡地区中学卒業生aの飛騨神岡高校入学者数bが増加した。（b/a H24 42% →H25 57%） 中2における高校参観、授業体験等の実施により、早い時期から自分の生き方、進路や高校選択について考えることができた。 小中高による地域挨拶運動を実施し、小中高のつながりを深めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中高教員の交流、授業研究のあり方を工夫する。 保護者、地域へ、活動の実際と成果が伝わる情報提供の工夫をする。 定期的実践交流できる活動計画の見直し、活動の精選、焦点化を図る。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価																																									
				実績	成果・課題																																										
豊かな心づくり・健やかな体づくり	児童生徒の郷土を愛する心を育てる	<p>学校支援者活用事業</p> <p>地域の専門的な知識や技能を有した方を、学校内での授業や総合学習、クラブ活動、学校行事等の学校支援者として招聘し、指導援助を行うことで、より充実した教育活動と共同教育を推進するとともに、児童生徒の郷土を愛する心を育てる。</p>	学校教育課	<p>学校支援者活用事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用回数</th> <th>支援者数</th> <th>利用時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古川小</td> <td>14</td> <td>23</td> <td>368</td> </tr> <tr> <td>古川西小</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>河合小</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>宮川小</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>神岡小</td> <td>11</td> <td>24</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>山之村小中</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>古川中</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>神岡中</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>74</td> <td>107</td> <td>1148</td> </tr> </tbody> </table>			利用回数	支援者数	利用時間	古川小	14	23	368	古川西小	9	11	113	河合小	9	13	120	宮川小	9	11	97	神岡小	11	24	180	山之村小中	11	8	48	古川中	6	9	124	神岡中	5	8	98	計	74	107	1148	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識や技能を有した地域人材による児童生徒への指導援助で、学習をより一層充実させることができた。 ・伝統文化の継承、ふるさと学習についての講師を招いての学習は、市の教育方針「ふるさと意識をもち 学び続ける人づくり」の基盤となる学校教育の方針「ふるさとを愛したくましく生きる力を育む教育」につながっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援者の指導支援により、教員も児童生徒とともに郷土の歴史文化を学び、今後のふるさと学習の指導につなげる。 	A
					利用回数	支援者数	利用時間																																								
古川小	14	23	368																																												
古川西小	9	11	113																																												
河合小	9	13	120																																												
宮川小	9	11	97																																												
神岡小	11	24	180																																												
山之村小中	11	8	48																																												
古川中	6	9	124																																												
神岡中	5	8	98																																												
計	74	107	1148																																												
[H24決算額] 918千円																																															

重点施策	重点目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価												
				実績	成果・課題													
豊かな心づくり・健やかな体づくり	家族の絆を深め、郷土を愛する心を育てる	<p>小中学校野外活動補助事業</p> <p>雪国飛騨市の特性を生かしたスキー活動を通して、降積雪によりグラウンドが使用できない冬期における児童生徒の体力づくりを図るとともに、親子でのスキー活動の取組による家族の絆を深め、児童生徒の郷土を愛する心を育てる。</p> <p>また、市内スキー場を小中学生やその保護者等が利用することにより、市内施設の活性化を図る。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>〔リフト券購入補助券配布児童生徒数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象スキー場名</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河合スキー場</td> <td>750人</td> <td>761人</td> </tr> <tr> <td>ひだ流葉スキー場</td> <td>343人</td> <td>337人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,093人</td> <td>1,098人</td> </tr> </tbody> </table>	対象スキー場名	H23	H24	河合スキー場	750人	761人	ひだ流葉スキー場	343人	337人	計	1,093人	1,098人	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 降積雪によるグラウンドが使用できない冬期において、スキー活動は冬期間の体力づくりや雪国飛騨市における特色ある教育活動として活用されている。 親子で共に取り組む活動として、家族の絆をより深め、児童生徒の郷土愛を育む価値ある活動となっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子の絆を深め、郷土教育の一環としての位置付けを明確にし、事業の意義を保護者へ啓発して、学校教育の方針である「ふるさとを愛し たくましく生きる力を育む教育」につなげていく。 	A
				対象スキー場名	H23	H24												
河合スキー場	750人	761人																
ひだ流葉スキー場	343人	337人																
計	1,093人	1,098人																
<p>〔H24決算額〕 1,098千円</p>																		

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題				評価													
				実績		成果・課題															
豊かな心づくり・健やかな体づくり	部活動を通じての生徒の健全育成の推進	<p>運動部活動等外部指導者活用促進事業</p> <p>部活動担当教員と外部指導者の連携・協力により、指導者としての資質向上を図るとともに、部活動を通じて生徒の健全育成を推進する。</p>	学校教育課	〔部活動外部指導者数・年間指導回数〕				<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動担当教員と外部指導者が連携、協力しながら指導することで、生徒の技能向上及び健全育成に効果を上げている。 専門的な外部指導者との連携により、部活動担当教員の指導力向上につながっている。 平成24年度も全国大会出場や県大会上位入賞した団体・個人があり市民に明るい話題を提供できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化により部活動の数や種目について検討する必要がある。 													
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>部名</th> <th>人数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古川中</td> <td>野球、ソフトボール、吹奏楽、バスケット、テニス、卓球、柔道、合唱</td> <td>9人</td> <td>329回</td> </tr> <tr> <td>神岡中</td> <td>野球、バレーボール、バスケット、スキー、卓球、剣道</td> <td>9人</td> <td>291回</td> </tr> <tr> <td>山之村中</td> <td>スキー</td> <td>3人</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>21人</td> <td>625回</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔H24決算額〕 1,000千円</p>	学校名	部名	人数		回数	古川中	野球、ソフトボール、吹奏楽、バスケット、テニス、卓球、柔道、合唱	9人	329回	神岡中	野球、バレーボール、バスケット、スキー、卓球、剣道	9人	291回	山之村中	スキー	3人	5回
学校名	部名	人数	回数																		
古川中	野球、ソフトボール、吹奏楽、バスケット、テニス、卓球、柔道、合唱	9人	329回																		
神岡中	野球、バレーボール、バスケット、スキー、卓球、剣道	9人	291回																		
山之村中	スキー	3人	5回																		
計		21人	625回																		

重点施策	重点目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題			評価																									
				実績		成果・課題																										
一人一人のニーズに応じた特別支援教育	教育相談の資質と能力を向上し、不登校児童生徒0をめざす	<p>小学校スクールカウンセラー派遣事業</p> <p>不登校や登校するが教室に入ることができない児童・生徒を減らすために、スクールカウンセラー（以下「SC」）による当該児童・生徒やその保護者のカウンセリングを行う。また、SCの高度な専門性と豊富な経験を十分に活用し、教員の教育相談に関する資質や能力を向上させる。</p>	学校教育課	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>計画時間数</th> <th>実績時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古川小</td> <td>30 時間</td> <td>29 時間</td> </tr> <tr> <td>古西小</td> <td>56 時間</td> <td>41.5 時間</td> </tr> <tr> <td>河合小</td> <td>32 時間</td> <td>26 時間</td> </tr> <tr> <td>宮川小</td> <td>28 時間</td> <td>27 時間</td> </tr> <tr> <td>神岡小</td> <td>16 時間</td> <td>16 時間</td> </tr> <tr> <td>緊急対応用</td> <td>58 時間</td> <td>50.5 時間</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>220 時間</td> <td>190 時間</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	計画時間数	実績時間数	古川小	30 時間	29 時間	古西小	56 時間	41.5 時間	河合小	32 時間	26 時間	宮川小	28 時間	27 時間	神岡小	16 時間	16 時間	緊急対応用	58 時間	50.5 時間	合計	220 時間	190 時間	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校から保護者等への教育相談を実施したことで、中学校での生活の不安や悩みを解消につながっている。（中1ギャップの解消） ・管理職・主任・担任等と連携することで、相談事案への校内での組織的な対応力が向上している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と市教育研究所（常勤教育相談員）が連携し、戦略的に早期に教育相談事案に対応し、不登校児童生徒0を目指す。 	A
				学校名	計画時間数	実績時間数																										
				古川小	30 時間	29 時間																										
				古西小	56 時間	41.5 時間																										
				河合小	32 時間	26 時間																										
				宮川小	28 時間	27 時間																										
				神岡小	16 時間	16 時間																										
				緊急対応用	58 時間	50.5 時間																										
				合計	220 時間	190 時間																										
				〔H24決算額〕 950千円																												

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価																																						
				実績	成果・課題																																							
一人一人のニーズに応じた特別支援教育	特別支援教育を通じた学級環境の充実	<p>児童生徒支援員配置事業</p> <p>児童生徒支援員を学級に配置し、発達障がいを含む様々な障がい傾向のある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>〔支援員の配置状況〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古川小</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>古西小</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>河合小</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>宮川小</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>神岡小</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>古川中</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>神岡中</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24人</td> <td>22人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table>				H23	H24	H25	古川小	7人	7人	7人	古西小	5人	4人	4人	河合小	1人	1人	1人	宮川小	0人	0人	0人	神岡小	7人	7人	6人	古川中	2人	2人	2人	神岡中	2人	1人	1人	計	24人	22人	21人	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校の支援計画に基づいた支援員の配置と適切な支援により、落ち着いて学校生活を送り、学習活動に取り組む児童生徒が増えている。 対象児童生徒が安定するとともに、学級・学年・学校全体が落ち着き、集中して取り組めるようになってきた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象児童生徒は、クラス替えや進級・進学などの環境の変化に対応することに抵抗が大きいため、支援員と担任が連携して支援計画を作成し、今年度身に付いたことがさらによくするように、次につないでいく必要がある。 	A
					H23	H24	H25																																					
古川小	7人	7人	7人																																									
古西小	5人	4人	4人																																									
河合小	1人	1人	1人																																									
宮川小	0人	0人	0人																																									
神岡小	7人	7人	6人																																									
古川中	2人	2人	2人																																									
神岡中	2人	1人	1人																																									
計	24人	22人	21人																																									
<p>〔H24決算額〕</p> <p>小学校 16,298千円</p> <p>中学校 2,993千円</p>																																												

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
一人一人のニーズに応じた特別支援教育	児童生徒の学ぶ環境づくりの推進	産休・病休等引き継ぎ支援事業 産休や病休、長期休業による教員の変更は、児童生徒の戸惑いや不安や後任者への負担が大きい。そこで、本事業により1ヶ月の引き継ぎ期間を設け、しっかりと引き継ぎ、児童生徒が安心して学校生活を送れるように支援する。	学校教育課	産休教員引き継ぎ 1名 病休・その他引き継ぎ 0名 〔H24決算額〕 134千円	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産前休暇を取得する教員と後任者が1ヶ月前から引き継ぎに入り、児童の様子を観察したり、指導支援を行ったりすることで、児童の実態やそれまで行われてきた指導を理解することができた。 産休開始後も後任者は代替教員としての指導に生かすことができた。 教員が代わっても、児童は不安になることなく、これまで通りの安心した学校生活につながることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気休暇の場合、引き継ぎ自体が困難な場合が想定され、校内体制として緻密な配慮が必要である。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
生きがいを持って暮らせる環境づくりに必要な人材の育成	生涯学習関連団体との連携のもと生涯学習施策を推進	<p>社会教育委員の会活動事業</p> <p>社会教育法および第15条第17条の定めにより、教育委員会に助言をするため各種事業を行う。</p>	生涯学習課	<p>◇委員の定数等</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員の定数は15人以内。 2年任期の2年目 <p>◇委員の委嘱</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、飛騨市教育委員会が委嘱する。 委員の内4人は小中学校長。 <p>◇社会教育委員の会の実施（3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議、生涯学習推進大会についての協議 飛騨市図書館の図書選定、資料収集の方針案について協議、 市指定文化財の見直し方針案について協議（第1回） 教育振興基本計画について協議。（第2回、第3回） 	<p>【成果】</p> <p>社会教育委員として飛騨市の社会教育について認識を深め、教育振興基本計画等に意見をいただいた。</p>	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
生きがいを持って暮らせる環境づくりに必要な人材の育成	生涯学習活動や地域づくりで活躍する「ひとづくり」の推進	<p>社会教育主事資格取得研修</p> <p>社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与えるため、教育委員会事務局社会教育主事をに置く。</p>	生涯学習課	<p>◇社会教育法 社会教育法第9条の2では、市町村の教育委員会事務局は社会教育主事を置くと定められている</p> <p>◇飛騨市の状況 飛騨市においては、近年社会教育主事の研修を受講しておらず、人事異動等で社会教育主事が少なくなっている。 今後は計画的に受講し、社会教育主事の増員を図る</p> <p>◇実践 平成24年度は1名が受講し、社会教育主事の資格を取得した。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格を取得した職員は、子ども会、ジュニアリーダー等青少年育成に力を発揮している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育主事の受講資格は、①大学に2年以上在学して62単位以上を修得、②教育職員の普通免許状を有する、③高卒で2年以上社会教育関係の職務に従事している、等の要件があるため、受講資格を満たす職員の人事配置が必要となる。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
生きがいを持って暮らせる環境づくりに必要な人材の育成	生涯学習関連団体との連携のもと生涯学習の推進	生涯学習推進会議 生涯学習関係団体と連携しながら生涯学習施策を推進するため、課題の共有と活動の共通理解を図る。	生涯学習課	<p>◇運営委員会の実施（3回）</p> <p>◇部会、研修会の開催 <子育てネットワーク部会> <青少年健全育成・地域ぐるみの道徳部会> <文化・芸術振興部会> <生涯スポーツ振興部会></p> <p>◇生涯学習推進大会の開催 第1部 ・各部会の活動報告 ・社会を明るくする運動作文紹介（小学生） ・異文化体験発表（高校生） 第2部 人権講演会 『未来のきみが待つ場所へ』 講師 宮本延春氏</p>	<p>成果 今年度の推進大会は、市内の小学生・高校生の意見発表を取り入れたこととともに、人権講演会における宮本講師の話は、地域の青少年の今後を考える大きな機会となった。</p> <p>課題 部会ごとで意見交換を行い、関係諸団体で課題を共有したり活動の共通理解を図ることができたが、成果を具体的な活動に結びつけていくことが今後の大きな課題である。</p>	B

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
家庭・地域・学校と連携した生涯学習の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	<p>青少年育成推進員活動</p> <p>青少年の健全育成は、家庭・学校・地域の連携強化により、一体となって取り組むということで、三者がそれぞれ活動するのではなく、お互いに手を取り合い活動する</p>	生涯学習課	<p>組織：飛騨市青少年育成推進連絡協議会があり、その中に各町で組織する部会がある（4部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 青連協 会議：1回(5/10) ○ 古川部会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議：5回(5/10、5/24、8/2、9/19、3/4) ・ ふれあい集会：全体会議(6/19) 地区会議19カ所 (7/1~20) ・ 地域ぐるみの道徳教育公表会：(6/9 古川中学校) ○ 河合部会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議：7回(5/10、6/1、6/15、7/3、10/19、11/8、12/26) ・ こころの教育を語る会 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 (7/18 河合町公民館) 第2回 (11/30 河合小学校) ○ 宮川部会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議：4回(5/10、5/31、7/9、11/27) ・ 心のひろば <ul style="list-style-type: none"> 第1回 (7/13 宮川町公民館) 第2回 (12/12 宮川小学校) ○ 神岡部会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議：2回(5/10、5/21) ・ 夜間街頭指導(補導員・警察署合同)：(8/10) ・ 青少年健全育成地域懇話会 ：(6/30 神岡小学校) ・ 街頭指導：(7/7、12/24) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域（4部会）において推進員を中心に、青少年の健全育成に向けて関係組織等と共通認識を持ち、連携を取りながら事業を進めることができた <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、家庭・学校・地域が連携して取り組むことを推進していくとともに、現在行われている取り組みに対して、子どもたちはもちろん、地域の様々な大人たちも参加できる状況を意図的に作るなど、現在あるものを継続しながらうまく活用する方法を模索する必要がある 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
家庭・地域・学校と連携した生涯学習の推進	「学ぶ、ふれあう、交流する」家庭の教育力向上	家庭が本来果たすべき役割を見つめ直す機会となるよう小中学生の保護者が子どもの発達段階に応じて家庭教育の意義と役割を保護者自身が学習したり親子でふれ合ったりできる場を提供する。	生涯学習課	<p>飛騨市内の小中学校8校が、学校の協力により、PTA役員を中心に保護者が自主的に家庭教育学級を実施した。</p> <p>延べ実施回数 51回 延べ参加者数 2,972人</p> <p><講演会> ・家庭教育 ・食育 ・ネット社会</p> <p><親子活動> ・米づくり・環境整備作業・朴葉寿司づくり・親子登山</p> <p><体験活動> ・心肺蘇生講習・手話講習</p> <p><家庭での取り組み> ・見守りシート</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校に家庭教育学級担当職員、各PTAに家庭教育学級担当を位置づけられ、計画的・継続的な活動が展開された。 地域ごとに特色あるテーマをとりあげ、親子のふれあい活動とともに、子どもたちがふるさとの素晴らしさを再確認する機会となった。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣や学習習慣の確立など家庭で継続的に実施できる在宅型の活動をより充実していく必要がある。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
家庭・地域・学校と連携した生涯学習の推進	「学ぶ、ふれあう、交流する」家庭の教育力向上	親子ふれあい講座 親子ではり絵や絵画・工作などの面白さや難しさを体験することを通して、親子のふれあいを深めることを目的とする。	生涯学習課	講師に予定していた井上あき子先生の体調不良により、実施できなかった。	【成果】 なし 【課題】 新たな講師による教室開催を計画する。	D

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ライフステージに応じた生涯学習の推進	市民参加による生涯学習の推進	<p>生涯学習講座 （公民館講座）</p> <p>① 市民の「教えたい」という気持ちを具現化するべく、市民提案型の公民館講座を実施する。</p> <p>② 「各種団体・サークル紹介」を掲載したチラシを各戸に配布し、飛騨市内における生涯学習活動を広く市民に紹介する。</p> <p>③ 名人登録を行い、情報提供を行う。</p>	生涯学習課	<p>○実施講座 55講座 ＜誰でも自主講座＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期講座 企画 29講座 実施 26講座 ・後期講座 企画 30講座 実施 29講座 <p>○参加人数 延べ2,550名 （主な講座）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルディックウォーキング・健康体操 ・インターネット活用講座・カラオケ教室・園芸・水彩画・手芸・陶芸・ライフプラン・着付け・歴史講座 ・外国語（英語・スペイン語） ・外国人のための日本語講座など <p>○各種団体・サークル紹介</p> <p>○名人の登録（随時）</p> <p>○成果発表の場を提供 飛騨市図書館（展示の森）で作品展示</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が有する知識や技能を活かし、地域で活躍できる場を提供できた。 ・趣味や教養を身につけるための生涯学習の場を提供できた。 ・各種団体・サークル紹介により、活動をPRすることができた。 ・講座終了後にサークル活動に移行した講座がある。（大正琴・ケアピクス・カラオケ・グラスアート） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも講師になれるため、講座の質が保証できない。 ・講座内容や地区ごとの開講数にかたよりが生じる。 ・通年の講座を設置する （H25年度より開始する） 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ライフステージに応じた生涯学習の推進	市民参加による生涯学習の推進	<p>【目的】 国民の祝日に関する法律2条の成人の日により、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」ことを趣旨とする。</p>	生涯学習課	<p>【平成25年飛騨市成人式】 期日：平成25年1月3日 対象：平成4年4月2日 ～平成5年4月1日生</p> <p>(古川会場) 会場：飛騨市文化交流センター 対象：193名、出席170名</p> <p>(河合会場) 会場：河合町公民館 対象：13名、出席12名</p> <p>(宮川会場) 会場：宮川町公民館 対象：13名、出席13名</p> <p>(神岡会場) 会場：神岡町公民館 対象：94名、出席76名</p>	<p>【成果】 ・新成人対象者313名のうち、271名が出席し、地域の中での成人としての自覚を持たせることができた。</p> <p>【課題】 ・数年後には4会場での開催を見直すことも検討していく</p>	B

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
ライフステージに応じた青少年教育の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	<p>異文化体験・高校生海外研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生という多感な時期に海外研修を実体験させることにより、飛騨市に関わる若者の教育と人材育成を進める。 ・ 市内の高校に通う生徒及び市外の高校に通う市内在住の生徒に募集を行う。 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吉城高校から4名、飛騨神岡高校から1名、市外の高校に通う市内在住の生徒が3名の計8名を派遣 ・ 事前説明会（7/27, 8/10） ・ 市長激励会（8/10） ・ 経費内訳（1／3自己負担） 委 託 料：3, 8 3 8 千円 うち自己負担（1, 2 7 9 千円） 	<p>－成果－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オーストラリア ブリスベンでホームステイなどによる異文化体験研修と、セント・ポール高校での質の高い研修を行い、生涯学習推進大会においてその成果を発表することができた。 <p>－課題－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どのような目的を持った人を選考するのか、人選の条件の検討 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ライフステージに応じた生涯学習の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	青少年育成市民会議 市内の関係機関・団体との連携を密にし、青少年の健全な育成を図る	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6/16 少年の主張大会 会 場:文化交流センター 小ホール 出場者:小中学生各8名 ・ 地域のおじさん、おばさん運動加入促進運動 新規加入者:125名 ・ 啓発活動「広報ひだ」 7月号:青少年の非行・被害防止全国強調月間 11月号:子ども・若者育成支援強調月間 1月号:家庭の日普及実践強調月間 ・ 県民大会参加:11月11日 ・ わが家 わが町 家庭の日発表会参加 11月25日 ・ 生涯学習推進会議や青少年育成推進連絡協議会との連携 ・ ふれあい集会などの地区集会のほか、学校と連携した青少年健全育成の取り組みなどへの参加 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体が青少年の健全育成に向け、共通認識を持つことができ、連携を深めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成団体の役員の高齢化、若返りが課題である。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ライフステージに応じた生涯学習の推進	まちぐるみで取り組む青少年健全育成	<p>子ども会の育成</p> <p>【目的】 子ども会の組織の発展ならびにその活動の促進充実を通じて、児童生徒の健全育成を図ることを目的とする。</p>	生涯学習課	<p>○飛騨市内子ども会員数 古川町 1,379名 河合町 97名 宮川町 58名 神岡町 523名</p> <p>○各町の行事 古川町：小学校高学年を対象に、7月に交流会（キャンプ）を開催 河合町：子ども会員を対象に、8月に交流会（ふれあい広場）を開催 宮川町：子ども会員を対象に、11月に交流会（ふれあい広場）を開催 神岡町：子ども会員を対象に、8月に球技大会を開催</p> <p>○市子ども会の活動 10月に交流会を開催した。毎年市内4町のうち1町を会場として行っている。 また6月には指導者研修会を行い、各地区の事業紹介や講演を行う。</p>	<p>【成果】 ・小中学生を対象にリーダー養成を目的とした行事を行い、活動の充実や児童生徒の健全育成を図ることができた。</p> <p>【課題】 ・少子化により、子どもの数が減ってきているため、子ども会の合併を進める。 ・保護者には子ども会運営について理解していただくとともに、子ども自身が企画運営する本来の子ども会活動を目指す。</p>	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ライフステージに応じた生涯学習の推進	市民参加による生涯学習の推進	生涯学習講座 (飛騨市美術教室) ① プロの美術家の指導で美術を学ぶ機会を提供することで、一般及び高校生の技術・表現力・芸術に関する知識の向上を目指す。 ② 飛騨市における文化・芸術の振興と交流を推進を図る。 ③ 飛騨市美術館の活用。	生涯学習課	<p>① 飛騨市美術教室（古川会場） 日時：平成24年8月18日（土）19日（日） （18日）13：00～17：00 （19日）9：00～12：00 場所：飛騨市美術館 研修室 内容：人物コスチューム（男性） 静物（植物、土器、籠、果物） 作品鑑賞・講評 講師：中垣克久・蒲雄二・小枝利汎 参加人数：22名</p> <p>② 飛騨市美術教室（宮川会場） 日時：平成24年10月14日（日） 9：00～16：00 場所：宮川町種蔵地区 内容：a. ワークショップ （風景クロッキー） b. 風景スケッチ c. 作品鑑賞・講評 講師：上葛明広 参加人数：14名</p>	<p>【成果】 ・モデルの着衣が体の線がでにくい胴着と袴としたことや、形や質感の違いや、色の組み合わせなどを考えて静物を選択したで、技法や表現方法を学ぶ良い機会となった。</p> <p>・風景クロッキーを初めて実施した。技術や表現力の向上に繋がった。</p> <p>【課題】 ・経験が浅い受講生を増やすため、デッサン、油絵、水彩画などの初級を学ぶ講座があってもよい。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ライフステージに応じた生涯学習の推進	市民参加による生涯学習の推進	<p>高齢者学級</p> <p>高齢者を対象に、ふれ合いや学ぶ喜びを大切にし、年齢にあったふさわしい社会的能力を高める場として開催する。</p>	生涯学習課	<p>飛騨市4町において高齢者学級を開設</p> <p>○神岡町 月1回 年8回 募集制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養講座・郷土学習・健康体操 ・バスに乗車して地域研修 (東濃の地歌舞伎小屋等の研修) <p>○河合町 年2回 対象：老人クラブ会員 内容：教養講座・交通安全講座</p> <p>○宮川町 年2回 対象：老人クラブ会員 内容：教養講座・健康体操</p> <p>○古川町 月2～4回 対象：老人クラブ会員 募集制</p> <p>園芸・ダンス・郷土史・手芸・囲碁の5教室を開催</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が集い・学び・交流する場として定着し、参加者に好評である。 ・健康に関わる講座、郷土の歴史講座など、身近なテーマを取り上げ、生きがいに繋げることができた ・自分たちが住む地域をグローバルな視点から見直すことができた。 ・交通安全講座など社会の変化に応じた学びの場を提供することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4町で異なっている開催の形態や回数を統一していく。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛驒市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
伝統文化の継承と新しい文化の創造	地域文化の保存・伝承	市民音楽祭実行委員会補助金	生涯学習課	【第7回 飛驒市民音楽祭】 期 日 平成24年10月6日（土） 場 所 飛驒市文化交流センター スピリットガーデンホール 出演数 20 団体出演 内 容 第1部 合唱 第2部 器楽・バンド 第3部 吹奏楽	【成果】 ・市内の同じ目的を持つ他団体との連絡提携が図られ、団体の音楽活動の推進につながった。 ・一般市民への音楽文化の啓発につながった。 【課題】 ・古川町・神岡町からの出演団体が、ほとんどであり、河合町・宮川町からの参加がないため、案内等を送り、呼びかけを行う。	A
		【目的】 飛驒市内の音楽団体が一堂に会し、共に飛驒市の音楽活動の活性化と地域間交流を図り、地域の文化に対する意識の高揚を図る。				

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
伝統文化の継承と新しい文化の創造	地域文化の保存・伝承	河合・村芝居補助金 【目的】 長く地域に根付いてきた地歌舞伎を住民で残し、公演し続けることで、伝統芸能の保存継承をはかる。また、地域文化に対する意識の高揚、地域の活性化にもつながる。	生涯学習課	【平成24年度河合村芝居大公演】 期日 平成24年11月18日（日） 場所 河合町公民館 3階 大会議室 演目 白波五人男 「稲瀬川勢揃いの場」 恋飛脚大和往来「新口村」 観客 約200名	【成果】 ・子どもから高齢者まで、地域住民の交流の場として大いに活用されている。 ・地域文化に対する意識の高揚、地域の活性化につながった。 ・河合町以外からの出演もあり、市の行事として定着してきた。 ・河合町や古川町の児童も出演しており、伝統文化の保存継承につながる。 ・飛騨市内外から約200名の来場があった。	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
伝統文化の継承と新しい文化の創造	地域文化の保存・伝承	<p>真夏の夜のコンサート補助金</p> <p>【目的】 東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリスト金木博之氏をはじめ、金木氏と親交のある演奏家らにより「真夏の夜のコンサート」を毎年開催している。それに伴い声楽家や演奏家を目指す一般の方々に門戸を広げるため、「飛騨河合音楽コンクール」を開催し、上位入賞者には「真夏の夜のコンサート」の出演機会を与える。</p>	生涯学習課	<p>○飛騨河合音楽コンクール 期日：平成24年7月21日（土） 場所：河合町 友雪館 コンクール参加者：27名 （うち1名飛騨市）</p> <p>○真夏の夜のコンサート 期日：平成24年7月22日（日） 場所：河合町 友雪館 （第一部）コンクール入賞者の演奏 （第二部）エントランスホールにおいて金木博之氏と親交のある演奏家による演奏 観客：約200名</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一流アーティストの演奏を身近に聞くことができ、地域の音楽の振興に寄与している。 ・オーディション参加者を広く募集することにより、全国より応募があり、飛騨市のPRにつながった。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
伝統文化の継承と新しい文化の創造	地域文化の保存・伝承	文化協会補助金 市民主体で行われる文化活動や文化交流を支援し、組織強化を図る。	生涯学習課	<p>○事業 (継続事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨市文化協会会員顕彰展 (9/25～30) ・飛騨市俳句大会 (10/20) ・飛騨市短歌大会 (10/27) ・日展見学 (2/5) ・飛騨市芸能祭 (3/10) ・広報紙発行 (年4回) ・その他各支部事業 (年間) <p>(新規事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謡曲教室 (6回) <p>○補助金 3, 4 6 8千円</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句大会・短歌大会等、子どもを巻き込んだ活動を展開している。 ・広報誌の内容を、事業報告のみではなく、事業の事前PRをする内容に変更し、発行回数を増やした。 ・「文化交流部」と「文化振興部」を統合して「文化部」とし、各部にまたがる事業や広報は「本部会」の所管としてことにより、業務内容が明確になり、事業がスムーズに遂行された。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の運営体制の検討 ・本部と支部の連携強化 ・事業内容の見直し <p>【方策】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会員を増やす取り組み 会員による講座の開講→飛騨市誰でも自主講座 2 事業のスリム化 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
伝統文化の継承と新しい文化の創造	地域文化の保存と伝承	<p>飛越ふるさと芸能歌謡祭補助事業</p> <p>文化を通じ飛騨市と富山市の市民が交流する中で、地域文化の伝承意識を高め、出演者の意欲の向上と研鑽を深める。</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年3月3日（日）に神岡町公民館で開催し、来場者と出演者で会場は満席の賑わいとなった。 <p>○主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 高山オカリナアンサンブル 栃っ子ジョイントガールズ ブランバレエスタジオ ちんどん まいどはや松組 歌唱 他全21演目 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9回目の開催となり、連続出場者と新規出場者のバランスも良かったため、飛騨地域と富山市の文化交流が促進され、地域文化の伝承意識の高揚に寄与できた。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
生涯学習環境の整備	生涯学習施設の整備を行い、よりよい環境での生涯学習の推進	<p>神岡町公民館舞台吊物改修工事</p> <p>生涯学習施設の整備を行い、よりよい環境での生涯学習を推進します。</p>	生涯学習課	<p>○年次計画 平成22年度（1年目） 天井反射板1（モーター、ブレーキ、プーリー、ベルト、ワイヤーロープ他）。</p> <p>平成23年度（2年目） 天井反射板2、手動吊り物機構（バトン2・3、網元ローブロック、ガイドシュー他）</p> <p>平成24年度（3年目） 緞帳</p>	<p>【成果】 ・定期的な改修により、安全に使用できることとなった。</p> <p>【課題】 ・音響・照明ほか舞台装置の運営スタッフの育成。</p>	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
健康づくりと地域づくりに貢献する生涯スポーツの推進	誰もが親しめるスポーツの推進	<p>スポーツ推進委員会</p> <p>スポーツ活動指導者の発掘・養成に努めるとともに、資質の向上を図る。</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員数33名 古川 11名 河合 7名 宮川 7名 神岡 8名 ・ 市スポ推代表者会議 各地区から2名 随時開催 ・ 各地区でスポーツ教室等開催 ・ スポーツ指導の派遣 ・ 市スポ推研修会 ・ 地区スポ推研修会参加 (高山市・飛騨市) ・ 東四スポ推研究大会参加 (三重県) ・ 県スポ推研究大会参加、研究発表 (可児市) ・ 文部科学大臣表彰受賞 (亀山勉氏) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 随時に代表者会議を開催し、県研究発表のための編集会議を含め各地区の情報交換を多く行った。また、県研究大会での発表や、さらなる一体化を図るためスポ推全員の研修会を企画した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ推進委員としてコーディネーター的役割が加わったことで、各委員の問題意識の向上、組織的改革が必要。 ・ 市民のニーズや要求に応えた新規事業の開発が必要とともに、全体で行う事業の開発が必要⇒ノルディックウォーキングの普及 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
健康づくりと地域づくりに貢献する生涯スポーツの推進	スポーツイベントの実施	<p>スポーツ フェスティバル</p> <p>【目的】 体育の日になんで、 子供からお年寄りまで スポーツを通じた住民 の交流や健康づくりを 目的として開催。（今年 度はぎふ清流国体が開 催されるため時期を変 更。6月10日に実施 した。）</p>	生涯学習課	<p>◇飛騨市古川町スポーツ フェスティバル2012（6/10）</p> <p>会場：飛騨市森林公園一帯</p> <p>内容：体力測定・軽スポーツ・ウォー クラリー・10種競技など。</p> <p>参加者約 1,100名 関係者約 200名 計 1,300名</p>	<p>【成果】 ・ぎふ清流国体競技開催地としてのPRをか ねて園児のミナモダンスを実施した。 ・各種競技にミナモのマスコットを利用し 国体PRを推進した。 ・時期が例年とは違ったものの大勢の来場 者で賑わいを見せ、家族で交流が図られた。</p> <p>【課題】 ・競技の内容、実行委員会の体制等今後検 討していきたい。 ・駐車場の混雑はなかったものの事前の打 ち合わせにより対処できるようにしておく 必要がある。 （今年は事業が重ならなかった。） ・昼食時間の確保が無かったため、苦情が あった。役員の休憩時間として昼食時間 を設けることとしたい。</p>	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
健康づくりと地域づくりに貢献する生涯スポーツの推進	誰もが楽しめるスポーツの推進	ふれあい広場 河合町民ふれあいスポーツ広場、ふれあいソフトミニバレーボール大会の開催	生涯学習課	河合町民ふれあいスポーツ広場 ・ 市の委託事業として実行委員会体制で子ども会との合同開催とし、グラウンドゴルフを開催 ・ 参加者 100人 ふれあいソフトミニバレーボール大会 ・ 河合町に加えて宮川町も参加対象として開催 ・ 参加チーム 16チーム	【成果】 ・ ふれあいスポーツ広場では、地元老人クラブとの世代間交流ができた。 ・ ふれあいソフトミニバレーボール大会では、混合の部を設け男性も参加できるようにしたことにより参加者が増え、より交流が活発になった。	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
健康づくりと地域づくりに貢献する生涯スポーツの推進	誰もが楽しめるスポーツの推進	スポーツ少年団補助金 リーダー、母集団、指導者の育成を行うとともに、各単位団の団員同士の交流を図る	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 登録団数 29団 登録団員 約750名（小1～中3） 各種目の大会にスポーツ少年団として参加 飛騨市スポーツ少年団事業のほか、飛騨地区の事業にも参加 団員交流事業（1月26日） 56名の団員が参加して、レクリエーションや軽スポーツで交流をした 母集団、指導者育成事業（6月27日） 80名の育成者・指導者が参加して、「指導者の責任と安全配慮義務」「コーディネーショントレーニング」「捕食をうまく利用しよう」について学んだ リーダー育成事業（7月23～24日） 75名の団員が参加して、国立能登青少年交流の家で研修をした 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 団員交流やリーダー育成など、団員が対象となっている事業には多くの参加者があった 母集団研修では、スポーツ少年団に長年貢献した指導者や育成者の表彰を行うとともに、育成者（保護者）にも分かりやすく実践しやすい内容の講義を行ったため、参加者も多く充実した研修となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者がほとんど替わらないため高齢化している。若い指導者の発掘、育成が必要である 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
健康づくりと地域づくりに貢献する生涯スポーツの推進	スポーツイベントの実施	<p>元旦マラソン （第42回飛騨市古川町体力づくり）</p> <p>【目的】 元旦の朝にマラソンをして、新春を健やかに迎えられた喜びと1年の健康づくりを誓う事を目的としている。</p>	生涯学習課	<p>◇第42回記念 飛騨市ふるかわ元旦マラソン 2013 (1/1)</p> <p>会場：飛騨市古川町市街地マラソンコース</p> <p>内容：マラソンイベント。 ただし、タイム計測や順位付けはなし。</p> <p>【参加者数】 Aコース 427人 Bコース 234人 Cコース 198人 計 859人 スタッフ 47人 総計 906名</p>	<p>【成果】 ・当日は、天候に恵まれ雨、雪は降らずマラソン日和であり、ゲストラナー中京高校阪本和也・浅岡寿星選手、古川中駅伝部の参加もあった。</p> <p>・ファミリー賞やパフォーマンス賞の贈呈また号砲の「花火」を打ち上げ大会を盛り上げ参加者が過去最高人数であった。</p> <p>・欠席された役員が数名いたが、臨機応変に監察員の変更をし、事故も無くスムーズに実施できた。</p> <p>【課題】 ・昭和47年の元旦から旧古川町時代から続く伝統行事であり今後も長く続けていきたい行事である。マラソンブームもあり参加者は年々増加している。市外からの参加もある。今後も広く市民参加を呼びかけ、より良いイベントとして維持していきたい。</p>	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
健康づくりと地域づくりに貢献する生涯スポーツの推進	誰もが楽しめるスポーツの推進	<p>剣道錬成会</p> <p>剣道を通じた飛騨市内・飛騨地区内の少年たちの心身の鍛練と交流を図る</p>	生涯学習課	<p>「輝け飛騨少年剣士剣道錬成会」</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成17年度から開催し8回目 市内小中学生74人、指導者、審判員、大会関係者24人、総勢98人が参加 競技の後、有段者から熱心に指導を受けた <p>「飛騨かわい剣道アカデミー」</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成19年度から開催し6回目 飛騨地区から小中学生72人、講師等28人、総勢100人が参加 	<p>【成果】</p> <p>剣道人口が減少している中、市出身の有段者を迎えて開催することで剣道の基本を学ぶことによるレベルアップと、飛騨市内・飛騨地区内の少年たちの心身の鍛練と交流が図られた</p>	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
健康づくりと地域づくりに貢献する生涯スポーツの推進	スポーツイベントの実施	山の村だいこん マラソン（第14回） 標高1,000mの山之村高原を舞台とし、雄大な自然の中でマラソンを楽しむ機会を提供する。	生涯学習課	と き 2012年9月16日（日） と ころ 山之村牧場 （4コース16部門） 参加者 1,152名 （申込者 1,317名） 【実績】 当日は参加者の他にその家族や大会関係者など約1,500名が集った。牧場や地元の方によるバザー、山之村小中学校による催しなどで大会を盛り上げた。	【成果】 ・市内外の参加者が一堂に会し、マラソンを通して山村と都市の人々の交流が図れた。 ・特産品である大根やほうれん草を参加賞とすることで、山之村地区のPRとなった。 ・バザーで飛騨市特産品を提供することで飛騨市のPRとなった。 【課題】 ・参加者が年々200名ほど増加しているため、参加者に合わせたスタッフ体制が必要である。	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
健康づくりと地域づくりに貢献する生涯スポーツの推進	誰もが楽しめるスポーツの推進	<p>市民登山</p> <p>市民が登山を通して自然に親しみ、心と体の健康増進を図る。</p>	生涯学習課	<p>市教委が主催、飛騨市神岡地区スポーツ推進委員が主管して開催</p> <p>「市民登山」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中級者向け ・ 目的地 上高地 徳本峠（長野県） ・ 参加者 30人 <p>「一万歩の集い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初心者向け ・ 目的地 伊吹山（滋賀県） ・ 参加者 25人 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年ウォーキングやハイキングといった自然の中を歩くことがブームとなっており、市民のニーズに応えることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が固定化する傾向がある。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
競技力の向上を目指すスポーツの推進	誰もが楽しめるスポーツの推進	<p>体育協会補助金</p> <p>【基本目標】 「生涯スポーツの更なる推進」</p> <p>【具体的目標】</p> <p>①すべての市民がスポーツに親しむ機会を拡充する</p> <p>②更なる市民スポーツの振興を目指し、施設の整備と充実に努める。</p> <p>③顕彰事業</p> <p>④組織の充実</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 各種目において市民スポーツ大会の実施、飛騨地区大会における選手団派遣を実施した。 ぎふ清流国体開催における運営協力の実施した。 理事会、総会を行い、各支部組織、本部組織の緊密な連携、意思統一を図った。 総会においてスポーツ功労者・普及に尽力された市民を称えた。 受賞者：平成24年度1団体2名 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各支部組織との連携・情報交換を行ったことで体育協会事業が円滑に実施された。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種市民スポーツ大会は一部の愛好者だけが参加するのではなく、幅広く多くの市民が参加しスポーツに親しむ機会がもてるよう工夫が必要である。 市民に分かりやすく親しみやすい体育協会となるよう広報活動が求められる。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
スポーツ 環境の 整備	スポーツ 施設の 整備	<p>杉崎公園グラウンド 照明設備新設工事</p> <p>市民のニーズに応えるため、日本スポーツ振興センターより市助成を受け照明設備を新設する。</p>	生涯学習課	<p>【実績】 平成25年1月15日 工事着工 平成25年3月28日 完成</p>	<p>【成果】 夜間照明の設置により年間の稼働日数や稼働時間が増加し、市民の利用層が広がり、利用者数も格段に増加すると思われる。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
スポーツ環境の整備	スポーツ施設の整備	旧山田小学校プール 解体工事 老朽化により、フェンス等が破損し、危険性があることから取り壊しを行う。	生涯学習課	【実績】 平成25年2月21日 工事着工 平成25年3月25日 完成	【成果】 ・危険性がなくなり、見通しもよくなった。 ・利用者駐車場としても活用でき、利便性がよくなった。	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
文化財の保護と保存	指定文化財保護事業の推進	文化財保護修理事業補助 緊急性及び重要性を要する国、県及び市指定文化財の保護修理保存のために必要となる修繕経費等の一部を補助し、貴重な文化財を後世に残す。	生涯学習課	① 県指定古川祭り屋台 三光台組屋台千木修復 143 千円 ② 県指定古川祭宮本組 締め太鼓、胴長太鼓修 155 千円 ③ 市指定林昌寺 山門修復 971 千円	【成果】 ・ 限りある予算の中で、適切に修繕できた。	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化芸術の推進	指定文化財保護事業の推進	文化財の保護、継承を図るため、文化財の保存等に必要と認める事業を行う団体又は個人に補助する。	生涯学習課	各保存会事業補助 ・古川祭保存会 300千円 ・小萱薬師堂保存会 21千円	【成果】 指定文化財の適切な保存に努めることができた。	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
文化財の保護と保存	埋蔵文化財発掘調査事業の推進	遺跡指定区域内で開発事業者が開発を行う場合には、文化財保護法の「発掘の届出」が必要であるが、この基となる遺跡地図が、昭和49年当時の調査により作成されているため、保護法に定める適切な事務処理が行えない状況にあるため、調査を実施し正確な飛騨市遺跡地図を整備する。	生涯学習課	<p>・平成22～27年度にかけて実施する2年度目の調査で、古川C地区の調査実施し、古川町地内の調査を完了した。</p> <p>事業費 1,000千円</p>	<p>【成果】</p> <p>予定通りの調査を終え、新しい古墳を確認するなどの重要な成果があった。また、遺跡地図の編集作業を行い、公開へ向けての準備も行った。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化財の保護と保存	埋蔵文化財発掘調査事業の推進	<p>大明神遺跡ほか3遺跡調査事業</p> <p>過去に実施した発掘調査の成果をまとめた報告書を刊行する。（市単事業）</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書の編集・刊行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上町遺跡向町地点 印刷部数220部 ・ 大明神遺跡 印刷部数220部 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上町遺跡向町地点（古川町）、大明神遺跡（河合町）における発掘調査報告書を刊行し、全国の地方公共団体や大学等の研究機関に送付した。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
文化財の保護と保存	埋蔵文化財発掘調査事業の推進	<p>試掘確認調査事業</p> <p>飛騨市内において、大規模な開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在、範囲及び性格を明らかにするためにトレンチ掘削による、遺構の有無及び土層堆積状況を確認する。</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 緊急発掘調査3件 <ul style="list-style-type: none"> 上町遺跡2件 岩野城跡1件 塩屋金清神社遺跡1件 <p>事業費 2,395千円</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各々の試掘調査により、開発事業への影響の有無を確認することが出来た。 上町遺跡のうち1件については、本発掘調査を行う必要あり、設計等を行うため、予想土量や予想出土遺物についての情報を得た。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
文化振興	文化振興	<p>飛騨市美術展開催補助金</p> <p>新しい芸術文化の創造を促すとともに地域文化の振興に寄与し、感動豊かで優れた作品を広く募集し、一般に公開する。</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応募総数 146点 <ul style="list-style-type: none"> 日本画 9点 洋画 28点 写真 47点 書 43点 工芸 15点 彫刻 4点 ・ 飛騨市美美術館で開催 9月4日～9月9日 ・ 展示期間来場者数 718名 ・ 出品料を1点につき1,000円徴収し、運営した。 ・ 補助金 630千円 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6回目より1部門2人の審査員で、より公平な審査が実施されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催に当たり、運営協議会と運営委員会の体制について検討が必要。 ・ 出品数が年々減少傾向にある。 ・ 出品者が固定化されつつあり、新たな出品者が少ない。 ・ グラフィックデザイン部門の応募者が極端に少ないため、平成24年度より廃止。 	A

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果 ・ 課 題	
文化施設・文化交流施設の管理運営	文化施設管理運営事業の充実	飛騨市美術館企画、開催事業 飛騨市出身あるいはゆかりの作家の作品を中心にした常設展及び企画展を開催し、美しいものにふれ感動する空間、親しみのある美術館を目指す。	生涯学習課	飛騨市美術館の企画展として4回開催 ・井上あき子展 H24. 7. 21～H24. 8. 19 入館者数 669人 ・阿部浩展 H24. 10. 13～H24. 12. 2 入館者数 325人 ・第5回飛越美術交流展 H25. 3. 16～H25. 4. 21 入館者数 1,025人 ・平成24年度企画展 入館者数 2,019人	【成果】 企画展の回数は前年に比べ減ったが、内容の充実に努めた結果、市民の芸術文化の意識の向上を図ることができた。	A

事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価																		
				実績	成果・課題																			
文化施設・文化交流施設の管理と運営	文化交流施設管理運営事業の充実	文化交流センター・船津座自主企画事業補助	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・文化交流センター <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>自主企画事業</td> <td>年間10件</td> </tr> <tr> <td>共同開催事業</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>事業費総額</td> <td>29,597,004円</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>12,559,000円</td> </tr> <tr> <td>入場料ほか</td> <td>17,038,004円</td> </tr> </table> ・船津座 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>自主企画事業</td> <td>年間7件</td> </tr> <tr> <td>事業費総額</td> <td>9,701,188円</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>5,744,989円</td> </tr> <tr> <td>入場料ほか</td> <td>3,956,199円</td> </tr> </table> 	自主企画事業	年間10件	共同開催事業	2件	事業費総額	29,597,004円	補助金	12,559,000円	入場料ほか	17,038,004円	自主企画事業	年間7件	事業費総額	9,701,188円	補助金	5,744,989円	入場料ほか	3,956,199円	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化交流センターは、飛騨市の文化振興の核となる施設として幅広い年代へ質の高い文化を提供できた。また、鑑賞型事業だけでなく、市民参加型の事業も実施できた。 ・船津座は、地域密着、活性を担い、実行委員会による各種イベントを企画し、幅広い年齢層に気軽に参加してもらえる事業を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収客数及び集客範囲などの理由から採算の合う事業の選択は難しい。今後は、2施設の連携により、イベント内容の再検討、より一層の効率化が必要である。 	A
自主企画事業	年間10件																							
共同開催事業	2件																							
事業費総額	29,597,004円																							
補助金	12,559,000円																							
入場料ほか	17,038,004円																							
自主企画事業	年間7件																							
事業費総額	9,701,188円																							
補助金	5,744,989円																							
入場料ほか	3,956,199円																							

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
図書館の 管理運営	図書館の 管理運営	図書館振興事業 飛騨市図書館の図書 資料の充実を図る。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書購入 9,769千円 飛騨市図書館 6,197冊 神岡図書館 1,852冊 ・ 「ひよっこひろば」 6月8日人形劇「まるばんころころ」 34名 7月13日七夕・制作「短冊作り」ほか 31名 8月10日せんす作り 25名 9月21日王冠作り 30名 10月12日ペンダント作り 27名 11月9日小麦粉粘土作り 22名 12月14日クリスマス飾り作り 22名 1月11日鬼のお面製作・豆まき 18名 2月8日絵本作りほか 22名 3月8日おひなさま人形作り 31名 総参加者数 265名 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新刊や利用者からのリクエストなどから図書を購入することで図書資料の充実を図ることができた。 ・ 3歳児を対象に物作りと絵本の読み聞かせ等を実施し、親子ともに図書に親しむ機会を提供できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入館者数が減少してきているため、入館者数を増やす工夫をしていく。 	B

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
文化施設の 管理と運営	地域文化 芸術の推進	<p>知の地域づくり事業 (ソフト事業)</p> <p>・国の交付金事業「知の地域づくり」を利用し市民の生涯学習及び文化の向上に寄与する図書館を目指し各種事業を展開する。</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・浅井彰子定期講座 延べ 260名 10回開催 ・課題図書を読もう講座 34名 講師杉山亮 7月24日 ・司書研修 2回 各 13名 接遇研修・危機管理研修 ・高樹のぶ子講演会 350名 10月21日 文化交流センター ・薬草講座 49名 講師：小川康 1月19日 場所：飛騨市図書館 ・サイエンスショー 750名 2月17日 文化交流センター ・ベニシア講演会 498名 3月8日 文化交流センター ・民話紙芝居 (A2版2話各12セット) ・読み聞かせ用絵本購入 (10冊6セット 計60冊) 	<p>【成果】</p> <p>・各講座を図書館内で開催することで、図書館を利用したことのない市民に利用してもらうことがき、また、各講座のテーマの図書を紹介し貸し出すなど事業に連携した取り組みができた。</p> <p>【課題】</p> <p>・図書館を核とした、組織づくりが不十分であるので組織づくりに努めていかなければならない。</p>	B

重点 施策	重点 目標	平成24年度の目標	担当課	平成24年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ぎふ清流 国体 成功に 向けて の取り 組み	ぎふ 清流 国体 本大会 の開催	<p>1. 三競技本大会の実施</p> <p>① 本大会運営に伴う市民ボランティアによる競技会補助員と競技会係員及び競技補助員の配置体制を整える。</p> <p>② 飛騨市での開催競技を円滑に運営し、多くの市民の観戦の基、本国体を成功させる。</p> <p>③ おもてなしの心で来会者を迎え、広く飛騨市を全国にPRする。</p> <p>2. 飛騨市で実施したサッカー競技の事業概要説明会を開催</p> <p>3. 実行委員会の解散</p>	生涯学習課	<p>1 本大会運営体制等</p> <p>① 出役役員等延べ数 3,584人</p> <p>② 本大会期間及び開催場所</p> <p>サッカー 9月29日～10月4日少年男子（24チーム）</p> <p>ハンド 10月4日～8日成年男子（16チーム）</p> <p>ラグビー 10月4日～9日成年男子（8チーム）</p> <p>③ 学校観戦数（市内全校述べ1984人）</p> <p>④ 競技観戦者数（述べ13,410人）</p> <p>2 事業概要説明会の開催（12月14日・15日）</p> <p>3 実行委員会の解散総会（3月8日）</p> <p>4 市民公募の他、各種団体への出役依頼により競技会補助員を整えた。更に競技補助員については飛騨地域内の6高校と長良高校の生徒に依頼し体制を整えた。</p>	<p>成果</p> <p>1-①</p> <p>市民公募の他、各種団体への出役依頼により競技会補助員を整えた。更に競技補助員については飛騨地域内の6高校と長良高校の生徒に依頼し体制を整えた。</p> <p>② 市民観戦者を始め、県外からも多くの方々の観戦の中、大会を開催出来た。更に地元小中学校の生徒らの観戦もあり、会場が大変盛り上がり事故等も無く無事に大会を終える事が出来た。選手監督の宿泊についても全て市内で配宿する事ができた。</p> <p>③ 子ども達からの歓迎のぼり旗を始め、記念品やプランターへの選手応援メッセージ掲載等実施した。更には2日間限定でのもてなし汁の提供も行い好評を得た。</p> <p>2. 東京、長崎、和歌山県の10区市町の参加のもと、飛騨市でのサッカー競技の事業概要について説明した。</p> <p>3. 総会を開催し事業報告、決算報告の承認を得、最後に実行委員会解散の承認を得て国体の飛騨市実行委員会を閉じた。</p>	A
				<p>② 市民観戦者を始め、県外からも多くの方々の観戦の中、大会を開催出来た。更に地元小中学校の生徒らの観戦もあり、会場が大変盛り上がり事故等も無く無事に大会を終える事が出来た。選手監督の宿泊についても全て市内で配宿する事ができた。</p> <p>③ 子ども達からの歓迎のぼり旗を始め、記念品やプランターへの選手応援メッセージ掲載等実施した。更には2日間限定でのもてなし汁の提供も行い好評を得た。</p> <p>④ 東京、長崎、和歌山県の10区市町の参加のもと、飛騨市でのサッカー競技の事業概要について説明した。</p> <p>5 総会を開催し事業報告、決算報告の承認を得、最後に実行委員会解散の承認を得て国体の飛騨市実行委員会を閉じた。</p>		